

NO. 1 事業名 林道事業 [森林管理道開設事業 (国補)]

箇所・地区名 つかもとやま
塚本山線

平成23年度 公共事業再評価調査

1. 再評価調査

(区分) 国補・県単

事業名	林道事業〔森林管理道開設事業（国補）〕		事業箇所	山梨市三富上釜口	地区名	塚本山線	事業主体	山梨県												
	当初計画	現計画	今回見直し予定	⑤再評価時の評価状況 (平成18年度再評価) 事業の進捗に大きな遅れがみられるが、当初計画どおりの効果を発揮させるには4年間の工期延長もやむを得ないと判断されるので、コスト縮減と時間管理を徹底し平成27年度の完成に努められたい。																
計画期間	H13~H23	H13~H27	—																	
総事業費	1,170百万円	1,050百万円	—																	
(1) 事業の概要				(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕																
<p>①事業目的及び効果 本路線は、山梨市（旧三富村）の北部、広瀬湖の西部に位置する通称「塚本山」一帯の県有林の管理経営を目的とした森林管理道である。 利用区域内の森林はカラマツ、ヒノキ等の人工林が76%を占め、多くが40~60年生に達し伐期（収穫間伐の適期）を迎えていることから、伐採搬出コストの削減、施業の効率化などとともに、森林整備による水源かん養、土砂流出防備機能等発揮にも貢献することが期待されている。また、本林道は森林基幹道「乾徳山線」の支線として位置づけられ、森林作業道を組み合わせることでこの地域における路網形成のため重要な路線である。 さらに、終点には恩賜林の歴史を伝える樹齢約90年生の「塚本山のヒノキ林」があり、見本林としての管理及び活用を行うことが容易となる。</p> <p>②事業概要 森林管理道 計画延長 3,900m 幅員 4.0m 利用区域面積 205ha 森林資源蓄積量 35,557m³</p> <p>③全体計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度まで</th> <th>平成23年度 (評価実施年度)</th> <th>平成24年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開設延長</td> <td>2,192m</td> <td>230m</td> <td>1,478m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>594百万円</td> <td>51百万円</td> <td>405百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>④特記事項 「塚本山のヒノキ林」に近接して、約30haの山梨県立農林高校の実習林がある。</p>					平成22年度まで	平成23年度 (評価実施年度)	平成24年度以降	開設延長	2,192m	230m	1,478m	事業費	594百万円	51百万円	405百万円	<p>①地域・住民の意向状況 林道開設により山林としての価値の上昇が期待でき、今後このエリアの森林の維持、管理及び作業効率の更なる向上を期待している。また路線の終点付近には樹齢90年を超えるヒノキが存在しており、林道の開設により活用が容易になるため、早期完成を要望する。 (山梨市長よりの意見聴取)</p> <p>②産業・経済情勢 東日本大震災により、復旧、復興のため杭丸太など国産材の需要が高まっている。</p> <p>③国等の方針変更 ・森林・林業再生プラン 国は平成21年12月に「森林・林業再生プラン」を策定し、今後10年間で国産材自給率の目標を50%とし、森林施業の集約化、新たな林内路網の考え方に基づく路網の加速的整備により、効率的・安定的な森林経営の基盤づくりを進めることとしている。</p> <p>④上位計画・関連事業計画等の変更 ・富士川上流地域森林計画（平成19~28年度） ・第2次県有林管理計画（平成23~32年度） ・山梨県林道網整備計画（平成16~35年度）</p> <p>⑤自然環境条件等の変化 なし。</p> <p>⑥その他 なし。</p>				
	平成22年度まで	平成23年度 (評価実施年度)	平成24年度以降																	
開設延長	2,192m	230m	1,478m																	
事業費	594百万円	51百万円	405百万円																	
				(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕																
				<p>・事業採択時計画における事業全体B/C 便益(B)/費用(C) = 未算出</p> <p>・再評価時計画における事業全体B/C 便益(1,158百万円)/費用(976百万円) = 1.19 > 1.0 (平成18年度再評価)</p> <p>・再々評価時計画における事業全体B/C 便益(1,325百万円)/費用(1,183百万円) = 1.12 > 1.0 (平成23年度再々評価)</p> <p>(林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出 事業採択基準値1.00以上)</p>																

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要</p> <p>施工箇所の地形が急峻で、また地質も脆弱な区間があり、計画どおりの事業進捗とならなかったため、平成18年度に計画期間の延長を行った。また、今後の開設単価の減少を勘案し、事業費を減額した。</p> <p>②施工済みの事業内容</p> <p>全体計画のとおり。</p> <p>③進捗率</p> <p style="text-align: center;">(整備済計2,422m/全体3,900m)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18*</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>30</td> <td>38</td> <td>46</td> <td>54</td> <td>61</td> <td>69</td> <td>77</td> <td>85</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>54</td> <td>62</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th colspan="4">算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>100</td> <td colspan="4">計画延長/総延長×100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td colspan="4">実施延長/総延長×100</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">*再評価年度 (H23は見込み)</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由</p> <p>地形が急峻な上地質も悪く、路側構造物、のり面保護工等の開設コストが嵩む区間であったため。</p>		H18*	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計画	30	38	46	54	61	69	77	85	92	実績	30	35	40	45	54	62					H27	算出方法				計画	100	計画延長/総延長×100				実績		実施延長/総延長×100				<p>⑤今後の事業執行上の問題点</p> <p>なし。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み</p> <p>平成18年度の再評価以降23年までの区間は地形が急峻で開設コストが嵩んだが、今後の開設予定区間は今までに比べ地形が緩くなることから、開設単価を縮減出来る見込みである。今後は必要な事業費を確保することで進捗の遅れを取り戻すことが可能と判断される。 これからもコスト縮減を徹底し、平成27年度に事業を完了する。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性</p> <p>なし</p>
	H18*	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26																																								
計画	30	38	46	54	61	69	77	85	92																																								
実績	30	35	40	45	54	62																																											
	H27	算出方法																																															
計画	100	計画延長/総延長×100																																															
実績		実施延長/総延長×100																																															
(5) 評価項目 [コスト縮減の可能性]																																																	
<p>地形に沿った平面・縦断線形をとり、切盛土量の均衡及び法面保護工の見直し、路側構造物の縮小等、総合的なコスト縮減に努める。</p>																																																	
(6) 評価項目 [代替案立案の可能性]																																																	
<p>なし。</p>																																																	
(7) 所管部の今後の方針 (<u>継続</u>) 見直し継続 ・ その他 ()																																																	
<p>今後の事業計画により、平成27年度の完成が見込まれることから、工程管理の徹底やコスト縮減に努めながら事業を継続する。</p>																																																	

省略

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



計画地遠景

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



林道沿線における木材搬出の状況



林道先線の要整備森林の状況

3. 添付資料シート(3)

□現況等写真



既設林道状況



塚本山のヒノキ林